

～硬式野球部の紹介～

- Kyoto Tanabe High School Baseball club -



両翼 100 [m]

ブルペン：2か所 バックネット裏観客席

～ 部員数 ～

3年生	54期	9名	女子マネ1名含む	27名（女子マネ6名含む）※平成30年5月現在
2年生	55期	12名	女子マネ3名含む	
1年生	56期	6名	女子マネ2名含む	

～ 活動内容 ～

- ・月曜日～金曜日 放課後 16:00～19:30（火曜日休養日）【打撃・走塁・バント・守備（毎日）】
- ・トレーナー契約（トレーナー月2回指導）・（栄養指導月1回指導）
- ・土曜日と日祝日 練習試合



- Dugout -



- Batting gauge -



中学生のみなさんへ

田辺高校野球部のウリはグラウンドです。内野には黒土が張ってあり、外野はレフトが98mと固定されていますが、(高さ約10mの防球ネットがあり、これを越えるとどの球場でもホームランと言っていいと思います。ちなみに甲子園の両翼までの距離は96mです) 試合の時はネットを張り、

センター122m、両翼100mを確保することができます。

一般的に高等学校では野球専用のグラウンドを除くと長方形のグラウンドが多いです(サッカー、ラグビーなど多くの競技が長方形のフィールドを必要とするのでやむを得ないのですが)。そのためレフトかライトのどちらかがかなり制限された環境で野球をすることが多くなります。

それに比べると、田辺高校グラウンドは**府内でも有数の広さ**を持っているのです。これは、**野球をやりたい、自分の力を伸ばしたい**と思う生徒にとってはとても幸運なことです。



ホンモノの力を身につけるグラウンド

野球という競技の中でも攻撃については、道具を使って遠くにボールを飛ばすことが求められます。能力を高めよう、攻撃力を上げようとしても、すぐに端まで届いてしまっただけでは自分の力が正確に測れません。その点、田辺高校では試合の打球でもロングティーなど練習の打球でも、ホンモノの打球でないと抜けたり、越えたりしないのです。ホンモノとは“球場で通用する”という意味です。

自分がホンモノの力を身につけるために、田辺高校で野球をしてみませんか？もちろん、野球だけをするための環境ではありません。「高校野球」なので、高校生としての学校生活が第一です。でも、**いざグラウンドに来たら持っている力を全開**にしてください。それでも受け止めてくれるだけの環境だと思います。





時代に左右されない環境

高校野球をしたいと思っているあなたが高校を選ぶときにはいろいろな不安があるでしょう。先輩がどんな人たちなのか、同級生にどんな選手が入るのかは行ってみなければわかりません。あてにしている顧問の先生もひょっとしたら人事異動があるかもしれない。環境も十分でないかもしれない。でも、「あの有名な学校だからきっと大丈夫」とか「卒業生に〇〇さんがいるから」などと、漠然とした理由で自分を納得させようとしていませんか？

本校の指導者や部員も他校に引けを取るものではありませんが、あえてこの場ではそこは強調しません。先にも述べたとおり、それは変動しやすい要素だからです。

長い歴史を持つ田辺高校は、グラウンドにも長い歴史があります。学校は動かないし、グラウンドはずっとそこにあります。多くの先輩たちが汗を流した、きっとあなたの意欲を裏切らない環境があなたを待っています。

